

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2020  vol.40



目次

志木高 75 周年記念事業について
事業内容説明と委員会構成予定ほか

コロナ禍に負けず、親睦を深めよう！
イベント参加募集&実施報告寄稿

- ・ 枇杷の会、歩こう会よりお知らせ
- ・ ホームカミングデー
- ・ 同期会& OB 会だより
- ・ ゴルフ親睦会 ほか

母校の「今」がわかります

- ・ 体育部会、文化部会 NOW/ クラブ戦績
- ・ 志木高・志木会行事日程 ほか

収支報告、役員・幹事等一覧

会長ご挨拶



慶應志木会会長

坂上 隆彦

志木会会員各位の皆様には今までにない世の中の環境下、見えない敵との闘いにおかれましても夫々ご対応策を踏まえお過ごしのことと存じます。

令和2年、今年の夏は7月の長雨、集中豪雨から8月の猛暑、残暑、更にコロナ感染の第二波とナカナカ記憶に残る大変な季節でありました。慶應義塾でもコロナ対策支援による医学部付属病院の収益悪化など苦しいニュースもございましたが、我々が母校、慶應義塾志木高等学校では開校以来のオンライン授業の開始など教育要領の改革を感じさせられる年でもありました。関わられているご事業も厳しい状況に置かれた方も多いかと存じますが、この変化を次の時代への道筋と前向きに取らまえ着実に歩んでいきたいと思う昨今であります。

さて、昨年の会報よりの慶應志木会の活動状況ですが、昨年秋には10月の連合三田会への出展、11月の志木マスターズゴルフコンペ、更に五高合同同窓会と夫々のイベントを企画し数多くの会員諸氏にご参加頂き誠にありがとうございました。年が明けて令和2年、コロナ第一波直前の2月に幹事新年会を開催し活動キックオフ、その後世の中での状況を注視しながら第一波/第二波の狭間7月には幹事総会を開催、これからの活動の下準備を着々と進めております。本年9月の志木マスターズは3密回避のため各期メンバーでの懇親ゴルフ会へ衣替えにて交流を深めて頂きましたが、志木高での3月/4月の卒業式/入学式、10月収穫祭時でのホームカミングデーはご高承の通り学校側の方針に基づきOB諸氏の参加は見合わせる事となりました。また、10月の日吉での連合三田会のイベントも連合三田会の決定として休止です。

しかしながら、我々には母校、慶應義塾志木高等学校75周年事業という一大イベントが予定されております。母校の校舎/建屋は前回昭和の世以来50年余が経過し老築化していることもあり今回新たに講演会や演奏会に特化した多目的ホールを建設予定であります。この事は昨年も全国大会にてグランプリを受賞した志木高器楽部の活躍が大きく勘案され地域住民の皆様にも好評を得ている器楽部演奏会への活用も期待されているからとの事と聞き及んでおります。第1期の諸先輩より昨年参加してくれた第70期の256名に及ぶ新たな仲間たちまで、慶應志木会1万6千名の全メンバーにて募金を行い母校への経済的支援を行っていきたく思います。その趣旨にのっとり詳細は後項にてご覧願うこととし、第1期卒業生のメンバーより歴代会長からも募金委員にご就任頂く次第であります。母校愛溢れる会員各位には本件ご高承の上、どうかご賛意をお示し頂けるように衷心よりお願い申し上げます。

結びにまだまだ先行き不透明な世の中ではありますが、会員各位、どうぞご健勝にてお過ごしなられます様お祈り申し上げ本年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年8月吉日

名譽會長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

高橋 美樹

志木会の皆様におかれましては、新型コロナ禍の下でも、様々な形でご活躍のことと存じます。慶應義塾志木高等学校を代表して、皆さまのご無事とご活躍をお祈りします。

令和2年は、昭和23年設立の本校にとっても、100年前のスペイン風邪（インフルエンザ）に匹敵するほどの危機的状況であり、まさに歴史に残る年となりそうです。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19：Coronavirus disease 2019）が最初に話題に上ったときには、これほどの事態になるとは想定していませんでした。2月26日に開催された、志木会幹事会で、「新型コロナに負けるな!」「新型コロナをぶっ飛ばせ!」と叫んでいたときも、ここまで深刻な事態は予想していませんでした。

ただしその一方で、感染拡大を防ぐため、2月26日には慶應義塾が主催するイベント、教職員・塾生が関わるイベント等に関して、原則中止または延期の決定・要請が出され、翌日には安倍首相から、全国の小中高校と特別支援学校に、3月2日から春休みに入るまで臨時休業とすることが要請されました（その後、延期されたのはご存知のとおりです）。

本校でも、COVID-19対策の一環として、令和元年度の卒業式（3月24日）は中止され、70期・256名の生徒は、各自、教室にて放送で式辞を聞き、卒業証書を受け取るのみでした。本来であればお招きするはずの第30期卒業生の皆様には心よりお詫び申し上げます。

その後、4月7日に「緊急事態宣言」が発出され、活動自粛、キャンパス封鎖が続けられるなか、本校では、4月21日からオンラインでの授業を開始しました。令和2年度の新入生は、入学式を経ることなく、教職員やクラスメイトと顔を合わせる機会もないまま、最初からオンラインで授業を受けたことになります。恐らく、本校はじまって以来のことと思います。6月1日になって登校が再開されましたが、通常授業復帰には至っていません。

慶應義塾志木高等学校では、これまで、危機管理の「さしすせそ」原則に則り、生徒や保護者、教職員の健康・安全を最優先に対応を進めてきました。具体的には、フェーズ1（週一回・時間差登下校、短縮HR）、フェーズ2（クラス分割、短縮授業）、フェーズ3（1教室1クラス、短縮授業）、フェーズ4（通常授業）と、通常復帰までを4段階にわけ、現在はフェーズ3にあります。フェーズ3は、より「3密」に近づく一方で、首都圏の感染者数・陽性率もあがってきていることから、一時も気を抜けない状況が続きます。課外活動、部活動についても、生徒や保護者、教職員の健康・安全という観点から、制限せざるを得ないことがあります。ご理解賜れば幸いです。ちなみに、研修旅行、見学旅行、クラスマッチ、運動会、志木の森ツアー、本年度の国際交流はすべて中止が決定されています。

なお、75周年記念事業については、ひと言でいえば「休止」している状況です。慶應義塾が「新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急支援」を募っていることをご存じの方もいらっしゃると思います。裏を返せば、修学支援、医療支援に多額の支出が見込まれ、財務的に、記念事業にまわす余裕が無い、ということのようです。

しばらくは先が読めない状況が続きますが、今後も、慶應義塾志木高等学校が歩みを止めることはありません。志木会の皆さまには、引き続き、ご支援いただければ幸いです。

末筆ながら、皆様のご健勝・安全と貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

志木高75周年

志木高 75周年記念事業について

3年後の2023年に、創立75周年を迎える慶應義塾志木高等学校ですが、この機会に学校の歴史に残る記念事業として、これからの時代に幅広く活用できる「多目的棟」を校内に建設する計画が有ります。

これ迄の長い間、志木高を支え、発展させて来た先人達・先輩達の努力に感謝し、未来へ続く志木高創りに有益な新棟建設のために、建設募金の委員会を立ち上げる予定です。

志木会を始めとする多くの関係者の方々の、ご支援を期待しています。どうぞ、積極的なご助力を宜しくお願い致します。

募金委員会 委員長予定者
16期 伊藤雅俊



事業内容

志木高は2023年(令和5年)に創立75周年を迎えます。この節目に向けた記念事業として「多目的棟」を建設することを計画しています。多目的棟は、現在音楽教室がある場所に建てられます。1階が小教室や和室、2階が音楽教室、3階が300名収容の小ホールとなる予定です。

PC・視聴覚・多言語・国語科・社会科など少人数教育の重要性が高まり、従来のメディア棟だけでは小教室の不足感が深刻となりました。小教室を増やすだけでなく、中教室への臨機応変な転用、国際文化交流の舞台としての利用も想定しています。

一方で、講演会や演奏会等に特化して、一学年300名を収容できるスペースが今までありませんでした。体育館や外部施設を利用してきましたが、校内に確保することは長年の希望でした。今後、志木演説会・招待講演・音楽演奏会などの利用や、地域との交流事業への利用が期待されます。

総工費は概算12.5億円になります。このうち2階部分は音楽教室の更新扱いで、1階3階の2階層分が新規施設となります。義塾では「新規施設の建設は実施部署が1/3を負担、既存施設の更新は経常費にて充当」という暗黙のルールがあります。12.5億円の2/3の8.3億円が新規施設分、その1/3の2.8億円を実施部門で調達、すなわち寄付金で充当ということになります。2019年中に義塾内で検討を重ね、以上の内容でほぼ合意ができていました。志木会にもこの記念事業への募金協力の相談があり検討を始めました。しかし、高橋校長の挨拶のように、志木高だけでなく義塾全体がコロナ禍対応に追われることになり、2020年になってから現在まで記念事業の進捗が停滞しています。さりとて記念事業は実施されることが決まっており、遅延したものの実施されることになっています。今年度中に義塾として正式に認可されるように具体化を図り、来年度から募金を開始したいとの意向です。

記念事業について

募金

約3億円の募金は、「実施部署」が行うということで、志木会・PTA・教職員が担うこととなります。PTAは長年にわたり多目的棟建設名目の寄付を募っており、教職員の皆様も出来得る限りの寄付を行う予定です。しかし、16,000名の志木会が集める募金額が主体になることが明白です。この募金期間は良い状況とは言えませんが、めげずに志木会全体で集めなければなりません。

この募金を実施するために、「75周年記念事業募金委員会」（仮称）を立ち上げることにしました。記念事業が正式に決定されるまでは、志木会の皆様に働きかけることは出来ず、先行した寄付も受け付けられませんが、出来る範囲で準備をしていくこととなります。新年度から実際の寄付が受け付けられれば良いなと思っております。正式に募金が始められる状況になりましたら、志木高からの趣意書やお願い、募金方法など発信していきますので、もう少しお待ちいただければと存じます。

文責 募金委員会事務局長予定者 23期森田榮一

75周年記念事業募金委員会の構成予定

募金委員会は、学校側と志木会側で構成されます。（敬称略）

- | | |
|-------|---|
| 委員長 | 伊藤雅俊（16期・味の素会長、日本スポーツ協会会長） |
| 副委員長 | 高橋美樹（志木高校長） 坂上隆彦（23期・志木会会長） |
| 学校委員 | 宮橋裕司（主事） 原口 惇（教諭） 川原行人（教諭）
佐野 正（教諭） 石島慎一郎（教諭） 岡本真治（志木高事務長） |
| 志木会委員 | 上西正之（23期・志木会副会長） 大舘 信（28期・志木会副会長）
龍野和久（1期・第1代志木会会長代理）
多田 毅（7期・第2代志木会会長）
鹿野元章（16期・第3代志木会会長）
三義英一（23期・元志木高教諭） |
| 事務局 | 事務局長 森田榮一（23期・志木会幹事） 志木会事務局メンバー |

【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会		志木高等学校
	R2年度予定	R元年度実績	R2年度予定
4月		4/5 入学式 (9:30)	
5月		5/25 校内自然観察会* ¹ 5/25 枇杷の会* ² (府中郷土の森博物館の古民家園) 5/27 幹事会	
6月	枇杷の会* ² (通信にて)	6/1 5高JKカップ	
7月	7/7 幹事会	7/25 会報発行	7/27~31 第1回 定期試験
8月			8/2~ 夏季休業
9月	9/4 親睦ゴルフ会：藤ヶ谷CC	9/21 校内自然観察会* ¹	~9/6 夏季休業 9/10 定期健康診断 9/12 入学式 9/29~30 1年救命講習
10月	10/18 連合三田会出展 コロナのため開催中止 10/24 ホームカミングデー(収穫祭) (20期&45期：志木高) コロナのため開催中止 会報発行	10/20 連合三田会出展 10/26 ホームカミングデー (収穫祭) (19期&44期：志木高) 10/26 枇杷の会* ² (横須賀の観音崎灯台界限)	10/14 第128回志木演説会 10/24~25 収穫祭 (オンライン)
11月	11/29 枇杷の会* ² (大磯海岸と鴨立庵周辺)	11/3 第6回 志木マスタース 11/5 5高同窓会	11/3 学校説明会 11/18~24 第2回 定期試験
12月			第129回志木演説会 12/19~ 冬季休業
1月			~1/7 冬季休業 1/12~15 第3回 定期試験 (3年) 自己推薦入試
2月	幹事新年会	2/26 幹事新年会	一般・帰国入試 2/18~22 第3回 定期試験(1,2年)
3月	3/24 卒業式 卒業40周年招待 (31期)	3/24 卒業式 卒業40周年招待 (30期) コロナのため中止	3/24 卒業式 (10:00)

*1：志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に開催されます（卒業生参加可）

*2：枇杷の会は本井英元教諭（国語）のご指導のもとに開催されます

★R2年度の行事予定は、コロナウイルス感染拡大の影響により、変更または中止になる可能性があります。
都度、ホームページ等でご確認下さい。

志木会会費制度の変更について

前号にて周知の通り、平成30年度より、会費制度を変更いたしました。

従来、「5年で1万円」（年2,000円換算）としてまいりました。しかしながら、会費納入率（平成29年度実績）は、全卒業生約15,000人の約18%と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらにはOBの繋がりを充実させるため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更しております。

【新制度について】68期より

- ① 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として30,000円/人を納付いただく。
- ② OBの従来の会費制度を基本、廃止する。

●但し、合計3万円を未納の67期までのOBは、3万円迄の残額を徴収する。

皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選択いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成21年度秋より毎年数名への給費（令和元年度までに合計30名）が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への用途指定寄付金として税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

募金単位 1口 1万円

払い込み方法 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL : 048-471-1959 Mail : info@keio-shikikai.jp

志木高教職員の動向

教員

退職▶専任	三義 英一 君 (理科)	非常勤講師	6名
専任(有期)	野口 尚志 君 (国語科)		
新任▶専任	河野 文彦 君 (国語科)	非常勤講師	12名
	松井 洋 君 (理科)		

職員

退職▶	事務員1名、カウンセラー1名、臨時職員1名、 派遣(庶務)1名、派遣(理科助手)4名、派遣(志木会)1名
新任▶	事務員1名、カウンセラー1名、 派遣(庶務)1名、派遣(教務)1名、派遣(理科助手)2名、派遣(志木会)1名

『慶應志木会賞』について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年で14回目を迎えました。

令和元年度は、5団体を表彰いたしました。

1. 水泳部 (4名)

推薦者：水泳部部長 樋口 裕輔教諭 (4年連続受賞)

2019年度 日本高等学校選手権水泳競技大会 出場

2019年度 関東高等学校水泳競技大会 出場

2. 器楽部 (11名)

推薦者：器楽部部長 小池 陽教諭 (4年連続受賞)

第19回 東日本学校吹奏楽大会 金賞

第25回 日本管楽合奏コンテスト全国大会高等学校A部門
文部科学大臣賞並びに最優秀グランプリ

3. 競走部 (2名)

推薦者：競走部部長 山内 幾郎教諭 (3年連続受賞)

第81回 奥多摩溪谷駅伝 優勝

4. ホッケー部 (1名)

推薦者 ホッケー部部長 徳竹 成之教諭 (3年連続受賞)

第74回 国民体育大会 埼玉県選抜選手として出場

5. 端艇部 (5名)

推薦者 端艇部部長 中地 譲治教諭 (8年連続受賞)

端艇部副部長・前部長 池田 卓也教諭

第74回国民体育大会 埼玉県選抜選手として出場

第30回全国高等学校選抜ボート大会 埼玉県選抜選手として出場

以上

體育部會NOW / 第20回

ホッケー部 監督 神山 健一 / 部長 徳竹 成之

令和元年度の志木高校ホッケー部は、3年生5人、2年生13人でスタートしました。3年生は人数が少ないもののしっかりとまとまり、それに2年生がついていく形で結束力のあるチームでした。選手たちは前向きに日々の練習に励み、また日吉の大学の人工芝グラウンドに照明設備が付けられ、グラウンドの使用可能時間が延びたことにより、志木高校チームも人工芝グラウンドで練習できる機会が増えたこともあって、着実に実力を向上させていきました。照明設備の設置にご尽力並びにご寄付いただいた皆様に心から感謝いたします。

公式戦では、春のインターハイ予選、秋の全国高校選抜予選ともに全国大会上位常連の飯能南高校には勝てずに終わりました。一方、国民体育大会の関東予選においては、飯能南高校が中心の埼玉県チームに志木高校から小林翼選手が加わることができ、惜しくも準決勝敗退でしたが、小林選手は大いに活躍してチームに貢献していました。

2年生に代替わりしたのちは、今年の4月・5月のインターハイ予選に向けて強化に取り組んでいく予定でいたのが、新型コロナウイルスの影響で練習ができない状態となり、試合も中止となりました。この会報が発行される頃には、再び選手たちが思いっきりホッケーに打ち込めるようになってくれることを願っている次第です。

文化部會NOW / 第20回

囲碁将棋部 部長 大塚 彰

囲碁将棋部は、県大会で優勝・上位入賞した部員や全国大会・関東大会で活躍した部員をこれまで多く輩出している伝統あるクラブです。現在、将棋部門では、4つの埼玉県大会（4月・5月の高校将棋選手権、6月の高校竜王戦、9月の高校王位戦、11月の高校王将戦）で上位に進むことを目標に活動しています。囲碁部門では、埼玉県高等学校文化連盟や埼玉県学校囲碁連盟が主催する大会に参加しています。昨年（令和元年）8月には、渡邊亮介君（当時2年生）が埼玉県学校囲碁連盟主催の第46回埼玉県中学校・高等学校囲碁大会 A 級の部（A 級・B 級・C 級の中の最上位の部）において4戦全勝の成績で優勝しました。

今年度（令和2年度）は新型コロナの影響により、囲碁・将棋とも4月から7月までの大会はすべて中止や延期になっています。各部員は大会等が再開されるのを待ちながら、コンピュータやインターネットも利用して棋力の向上に努めています。

クラブ戦績

クラブ	戦績
体育部会	
硬式野球部	令和元年度選手権埼玉大会 2回戦 対上尾0-3 / 新人大大会 1回戦 対浦和1-12 / 秋季県大会南部地区予選 1回戦 対浦和西9-5、代表決定戦 対大宮東1-7
競走部	R元年度 国体予選西部地区大会 1500m峯村朋の6位 若林大生11位 / 新人戦西部地区大会県大会出場権獲得 1500m・500m若林大生、800m島田亘 / 全国高校駅伝埼玉県大会22位 / 埼玉県駅伝競走大会14位 / 奥多摩深谷駅伝優勝
卓球部	H31.4 関東大会兼インターハイ予選西部地区大会団体戦2回戦敗退、シングルス・ダブルス出場 / R1.8埼玉県ジュニア高等学校学年別強化大会シングルス出場 / R1.9全日本ジュニア埼玉県予選大会シングルス出場 / R1.9西部地区秋季大会団体戦2回戦敗退、シングルス出場 / R1.11西部地区私学大会団体戦、シングルス出場 / R1.11志木市民卓球大会シングルス小島優勝 (2年連続) / R1.12埼玉県ジュニア卓球選手権大会シングルス出場 / R2.1新人大大会埼玉県西部地区予選会団体戦2回戦敗退、シングルス・ダブルス出場
庭球部	令和元年度新人大大会 (個人シングルス) 青木: ベスト64、鳴戸 (嬢): 出場 (団体戦) ベスト16
ラグビー部	新人戦地区大会 対川越工業高校10-14 対川越工業高校61-0 / 関東大会予選 対三郷工技高校87-0 対川越工業高校21-5 準々決勝対浦和高校0-39 県ベスト8 / 国体予選県大会 対早大本庄高校63-0 対熊谷工業学校38-5 対深谷高校7-40 対伊奈学園高校12-33 県8位 / 全国大会予選 対松山高校95-0 対熊谷高校26-12 準々決勝対浦和高校14-21 県ベスト8 / 7人制全国大会県予選 対本庄第一高校41-0 対熊谷高校19-17 準々決勝対浦和19-17 準決勝対立教新座31-31抽選勝ち決勝対昌平24-40 準優勝
端艇部	戸田レガッタ2位 (4MX+) 5位 (1MX) / 関東大会予選優勝 (4MX+) 2位 (1MX) 5位 (2MX) / 関東大会3位 (4MX+) 6位 (1MX) / インターハイ予選2位 (2MX) 3位 (1MX) 4位 (4MX+) 5位 (1MX,2MX) / 河口湖レガッタ3位 (2MX) 4位 (4MX+) / 県新人戦優勝 (2MX,4MX+) 準優勝 (4MX+) / 関東選抜大会4位 (2MX,4MX+)
バレーボール部	埼玉県西部支部春季大会 一回戦対所沢西0-2 / インターハイ埼玉県西部地区予選会 一回戦対豊岡1-2 / 西部支部技術講習会一年生の部 対坂戸西0-2 対立教新座0-2 対所沢北・城北埼玉1-2 / 第72回全日本高校選手権大会西部地区予選会 一回戦対新座柳瀬2-0 二回戦対立教新座2-0 三回戦対ふじみ野0-2 代表決定戦対狭山経済2-1 / 同埼玉県予選 一回戦対浦和東1-2 / 新人大大会西部地区予選 一回戦対川越工業2-0 二回戦対立教新座2-0 三回戦対所沢0-2 代表決定戦対和光国際2-1 / 第32回埼玉県民総合スポーツ大会 一回戦対越谷北1-2
ホッケー部	H31.4インターハイ1次予選 対飯能南0-12 対聖望学園3-0 / R1.5インターハイ2次予選 対飯能南0-6 対聖望学園0-0 / R1.10県予選 対飯能南1-10 対聖望学園1-0 / R2.1新人戦 対飯能南0-7 / R2.2新人工芝お披露目式 対塾高0-4
サッカー部	R1.6総体県ベスト16 1-0大宮南、1-0越谷西、0-2聖望学園 / R1.10選手権県ベスト32 7-2秀明栄光、1-2大宮南 / R2.1新人戦西部支部7位 5-2朝霞、1-0所沢西、準々決勝1-1 (PK3-5) 朝霞西、5位決定戦2-3 (延長) 飯能南、7位決定戦3-1入間向陽
バスケットボール部	R1.5関東高等学校埼玉県予選ベスト16 / R1.6学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会埼玉県予選 1回戦敗退 / R1.7ウィンターカップ西部地区予選 3回戦敗退 / R1.8西部支部大会 3回戦敗退 / 新人戦西部支部予選 ベスト8 / 新人戦埼玉県大会ベスト32
弓術部	西部地区大会 (H30.3.29) Iチーム横堀・山田・石川12 / 24 Jチーム中村・豊田・岡田9 / 24 二次予選進出 / 西部地区大会 (R1.8.24) Dチーム目島・木脇・伊丹15 / 24 団体6位入賞 伊丹7 / 8個人4位入賞 / 新人戦 (R1.9.28) Bチーム宮尾・岡田・中村23 / 36決勝トーナメント進出 (ベスト16) / 全国選抜県予選 (R1.11 / 3) Aチーム宮尾・木脇・伊丹12 / 24 Bチーム加藤・杉本・大河内13 / 24二次予選進出 / 西部支部大会 (R1.11.4) Bチーム宮尾・岡田・中村16 / 24団体優勝 個人宮尾準優勝 個人木脇4位 / 西部地区大会 (R2.2.2) Aチーム富岡・吉川・大河内8 / 24 Fチーム岡田・木暮・中村9 / 24二次予選進出 / 全早慶高等学校弓道大会 (R1.8.28) 59 / 120より全8校中3位 / 対早稲田実業高等部定期戦 (R1.12.26) 61 / 120より勝利 / 対所沢北高等学校交流戦 (R1.2.26) 84 / 240より勝利 / 対早稲田大学高等学院定期戦 (R1.5.26) 83 / 200より勝利

クラブ	戦績
ゴルフ部	2019関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会 団体の部 埼玉予選3位入賞、決勝30位、個人の部決勝 金子拓馬77位 / 関東ジュニアゴルフ選手権15 ~ 17歳の部 決勝 金子拓馬52位 / 早慶戦 村橋陽斗・金子拓馬出場 (敗北) / 2019関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会 決勝 金子拓馬31位・全国大会出場権獲得 (大会は中止)
剣道部	西部支部 団体戦ベスト8 (一回戦 対東野4-0、二回戦 対聖望2-1、三回戦 対県立川越1代1-1、準々決勝 対城北埼玉0-3) / 西部支部個人戦 四回戦敗退 (県大会出場): 小中、三回戦敗退 (敗者復活戦敗退): 大野、二回戦敗退: 藤本・宮島 / 関東大会県予選個人 一回戦敗退: 小中 / 関東高等学校剣道大会県予選 ベスト32 (一回戦 対県立坂戸西3-1、二回戦 対県立新座2-1、三回戦 対県立不動岡0-3) / 全国高等学校総合体育大会埼玉県予選個人戦 二回戦敗退: 小中、宮島 / 総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会埼玉県予選 団体戦一回戦敗退 (対栄東0-2) / 五大学付属高等学校剣道大会 5位 (11校中) / 早慶高校剣道対抗戦 抜8人戦優勝 (4人残り) 通算8勝2敗 / 西部支部高等学校剣道新人戦ベスト8 (一回戦 シード、二回戦 対細田学園5-0、三回戦 対埼玉平成4-1、準々決勝 対城北埼玉0-5) / 埼玉県剣道大会高校の部個人戦 二回戦敗退: 宮島、大野 / 県新人大大会兼選抜予選 一回戦敗退 (対県立所沢北高等学校1-1代)
スキー部	インターハイ予選 GS: 岡本17位、小島28位、吉澤DF SL: 岡本13位、小島27位、吉澤DF / 国体予選 岡本52位、小島62位、吉澤DF / 全日本予選 吉澤16位、岡本17位、小島37位 / 群馬県選手権 GS: 吉澤25位、岡本DF SL: 吉澤17位、岡本22位 / 関東高校スキー大会 GS: 岡本67位 SL: 岡本75位
ソフトテニス部	関東大会西部地区予選会個人の部 3ペア 3回戦進出 / 埼玉県選手権大会西部地区予選2ペア 3回戦進出 / 東京六大学附属高校大会個人の部 2ペア ベスト16 / 新人大大会西部地区予選会個人の部 1ペア ベスト64 / 埼玉県私立高等学校大会個人の部 1ペア 3回戦進出
水泳部	埼玉県高等学校総合体育大会 男子総合6位 50m自由形 奥山丈太郎4位 100m平泳ぎ 奥山丈太郎6位 200m自由形 丸橋碧人3位 400mドレーンリレー【足立・奥山・佐々木・丸橋】6位 400mリレー【木根・佐々木・奥山・丸橋】7位 800mリレー【木根・丸橋・佐々木・奥山】6位 / 埼玉県高等学校新人大大会 男子総合7位 200m自由形 丸橋碧人優勝 400m自由形 丸橋碧人6位 100m背泳ぎ 足立開2位 200m背泳ぎ 足立開4位 50m自由形 橋本裕大6位 400mリレー【橋本・徳永・足立・丸橋】7位 400mドレーンリレー【足立・南・徳永・丸橋】7位 200mリレー【橋本・徳永・南・丸橋】7位
軟式野球部	県秋季大会 2回戦VS浦和実業8-1 (7回コールド) 栗山-佐久間 2塁打浅見、中条 3塁打兼松 同準決勝VS正智深谷5-7栗山、松尾-佐久間 2塁打中条
空手部	Karate1PremierLeague-Rabat2019個人形 2年阿部倅地13位 / Karate1PremierLeague-Shanghai2019 個人形 2年阿部倅地5位 / Karate1PremierLeague-Tokyo2019 個人形 2年阿部倅地9位 / 関東高等学校空手道大会埼玉予選 個人形 2年阿部倅地優勝 / 第51回埼玉県空手道選手権大会 個人形少年男子の部 2年阿部倅地優勝 / インターハイ埼玉県予選 個人形 2年阿部倅地優勝 / 埼玉県新人大大会 個人形 2年阿部倅地優勝 個人組手 1年関右京ベスト32 / 第28回関東高等学校空手道大会 個人形北ブロック 2年阿部倅地優勝
文化部会	
器楽部	第60回埼玉県吹奏楽コンクール・高等学校Bの部 金賞 / 第25回西関東吹奏楽コンクール・高等学校Bの部 金賞 / 第19回東日本吹奏楽大会・高等学校の部 金賞 / 第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会・高等学校A部門 文部科学大臣賞および最優秀グラプリ受賞 / 塾長賞
ワグネル・ソサィエティー 男声合唱団	第62回埼玉県合唱コンクール<高等学校の部>銅賞受賞

OB句会“枇杷の会”に 気軽に参加してみませんか！

最近プレバトやNHK俳句などで俳句を身近に見聞きするようになってきましたね。

旅行に出かけなくても近所を散歩するだけで季節の移り変わりを感じます。印象を受けた自然を17文字にまとめます。

“枇杷の会”は、高濱虚子をこよなく愛する本井英元教諭に俳句のご指導をいただいて、もうすぐ50回目を迎えます。



毎年2回、都内や近郊の庭園や名所を訪ねて句会を開いています。初心者の方も若い方も大歓迎です。最初は見学だけでも良いですし気軽に参加してみませんか？

句会の後は軽く一杯を楽しみながら友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。志木校に入って本当に良かったと思える絶好の機会です。

本年度の開催予定は次の通りです。

- ・令和2年6月28日(日) … 新型コロナの為、通信句会で実施
- ・令和2年11月29日(日) … 晩秋の大磯海岸と西行法師縁の
鴨立庵周辺を予定

湯浅善衛 (31期)

令和2年度 志木歩こう会中止のご連絡



令和2年10月10日(土)に
「野火止用水に沿って武蔵野の面影を味わう～ゴールは母校」というテーマで
歩こう会を開催予定しておりましたが、
新型コロナウイルスの終息が見えないことを踏まえ、
誠に残念ですが、今年の開催は中止とさせていただきます。

案内人: 35期 大澤宏樹

同期会 & OB会 だより

第 15 期 —昭和40年卒—

映画『ニオンのオルゴール』 クラウドファンディング目標達成

4月19日コロナ騒動で外出自粛の真只中に志木高の友人で亡くなった池田右君の奥様からメールがありました。メールの内容はご子息、池田良君が主演する岩名雅記監督（在仏）が自費製作中の『ニオンのオルゴール』のクラウドファンディングへの応援の依頼でした。良君は平成27年（2015年）公開の橋口亮輔監督作品『恋人たち』の主演の1人で、同性愛者で弁護士の難しい役を演じ第30回高崎映画祭優秀新進俳優賞を受賞しています。早速15期亦楽会の友人、大学時代の友人などに声かけたところ「枇杷の会」幹事で15期深瀬君から、岩名監督は志木高の先輩でフランスから帰国した折にお会いしたことがあるとのメールが届きました。早速2002年のCD-ROM版志木会名簿をチェックしたところ13期C組に岩名雅記先輩の名前を見つけました。その後志木会のウェブサイト www.keio-shikikai.jp で会報、毎月の慶應志木会メールマガジンを見たところ、何と15期のホームカミングデーの集合写真が表紙を飾った志木会会報2016vol. 36の13期「四木会」活動報告に「13期生会は在仏のソロ舞踏家にして映画監督の岩名雅記君を支援したりしている。」を見つけ、メルマガには第54号、第55号、第170号などに岩名監督のことが投稿されていました。ちなみに岩名監督は最初の作品が平成21年（2009年）の英国インディーズ映画祭でグランプリ受賞、次いで欧州有数の映画祭ロッテルダム国際映画祭にも2回連続で公式招待されています。岩名監督が農芸の授業があった同じ時期に志木高にいた先輩だと言うことがわかり、同期の仲間多数の支援も得て4月18日には75%の目標達成率が、4月27日には締め切りまであと4日を残して目標の150万円を達成し、最終日の30日には目標を10%以上を上回る結果でした。この資金は6月末から予定されている欧州ロケのキャスト、スタッフの航空運賃と撮影監督のロケハン経費に使われます。コロナの影響が去り予定通り映画が完成し来年の公開が楽しみです。

文責：15期亦楽会 倉田伸二

第 15 期 —昭和40年卒—



「70歳過ぎても博士号取れます」

亦楽会（志木会15期）大川聰君が令和元年9月17日に三田キャンパス西校舎ホールで举行された慶應義塾大学大学院学位授与式でシステムデザイン・マネジメント研究科博士号を授与されました。大学院に入り直したのはサラリーマン生活を卒業後の5年前、30代、40代の若い連中に混ざり指導教授の厳しい言葉にも決して下を向くことなく研究を続け、建設機械ではひんぱんに起こる複雑な故障を、経験的にはなくシステマティックに原因を見つけ解決するという難題に挑戦した論文が博士号取得に結びつきました。ご存知の方もおられると思いますが、ドクターコースの授業料は年間2百万円近くかかりますが、大川君のような実績ある社会人特別枠だと年金のお小遣い程度で勉学に励むことができます。

大川君は昭和44年慶應義塾大学工学部応用化学科を卒業。（株）小松製作所に入社し、研究、技術畑を歩き、著者に「写真でたどる建設機械200年」があります。

以上志木会の皆さん特にこれから60代を迎える皆さんに「団塊世代の星の誕生」を紹介させていただきました。最後に大川君のコメント「サラリーマン卒業後博士号をとるのでしたら是非60歳代に取得することお勧めします。70歳過ぎますと大学への就職は困難ですよ！」
15期 倉田 伸二

第 15 期 —昭和40年卒—

第 41 回^{えきらくかい}亦楽会報告

80～90歳が“男盛り”なら15期生は、“凍垂れ小僧”の73歳！ かの葛飾北斎が「富嶽三十六景」を完成したのも73歳、トランプ大統領も同じ歳。その15期生が集う「亦楽会」、昨年11月8日（金）、三田はファカルティクラブで開催、総勢40名のシニア小僧が参加した。

会は、全員塾歌斉唱から始まる。その瞬間、高校受験から解放されて急に“大人の自由な世界”に放り出され、必死に生きる意味を探していた、あの頃のもう一人の自分を彷彿とさせる。続いて恩師の後藤邦吉元教諭が、



「志木市の小学校や高齢者施設でボランティア活動に頑張っている。常に温かく接してくれる皆に感謝している」又、松井勝利元教諭が「今年80歳、この三田の坂を体力的に登れる間は、必ず、この会には出席したい。志木高のあの素晴らしい自然の環境の中で、皆と一緒に過ごせたことは幸せだった」と思いのこもった挨拶を頂く。

イベントは、同期の大村泰三君が、自作「日米漫談」を特別披露してくれた。米国商務省日米構造協議官として活躍した彼の経験を基にアメリカ人氣質をジョーク化したものだった。

勤労倫理：嘘（日米漫談一例）

大村：日本人は会社のためなら嘘もついて忠誠を誓います。会社が大事なのです。

米国人上司：嘘こけ！米国人は自分のために嘘をつく。日本人よりずっと正直だ！

続いて、同期、横澤和司君の推薦による落研OGのマジシャン「小梅さん」の登場。若さ溢れる華麗な手さばきと、彼女の匂いたつような美しさに、皆、瞬きもせずに見惚れてしまう。

後半は、同期、大川聰君が慶應の大学院で猛勉強の結果、本年、工学博士号を取得した事、元田隆之君が志木マスターズ（ゴルフ）で優勝した快挙等を報告、皆で祝福する。

最後は、恒例の慶應応援歌、気合いの入った應援指導部とチアリーダーのリードで肩を組み声張り上げて歌う。今年も、つかの間だが楽しいひと時だった。来年の再会を信じて、各自、思い思いに三田の坂を下って行った。



今回、出席が叶わなかったが貴重な浄財をカンバしてくれた有志29名、又、毎回、祝酒「花の井」を寄贈してくれる橋本勇二君に、この会報をお借りして改めてお礼を申し上げます。

第41回亦楽会幹事：A組岩倉襄、B組小野 直、C組中野善博、D組大関和樹、E組鎌田政稔
15期 小野 直

第 20 期 —昭和45年卒—

令和元年11月29～30日に3年ぶりの宿泊同期会を静岡県焼津で行い21名の方が参加しました。

29日はゴルフ組と昼食組に分かれ、昼食組は静岡の老舗蕎麦屋安田屋で早くも宴会をはじめ、PMに同期の安田君が打った十割蕎麦を堪能しました。

夕方宿でゴルフ組、昼食組が号合流しにぎやかな宴会となり、楽しいひと時を過ごしました。

いつまでたっても変わらない、楽しく過ごせる仲間たちを作ることが出来た志木高に感謝です。



普段の行いがいいかどうかは別にして、前日までのぐずついた天気
が嘘のように晴れ上がり、きれいな富士山を拝むことが出来ました。

今年の3月には恒例の東京での同期会を計画しましたが、コロナ
騒ぎでやむなく延期となりました。

コロナ騒ぎが落ち着きました再開出来るのを楽しみにしております。
20期 金子 博志

第 26 期 —昭和51年卒—



令和2年2月15日に午後5時～「新橋」駅前ニュー新橋
ビル地下1階の「嵯峨野」で26期同期会である26会が開
かれました。当日参加者は32名で、三條元教諭をお招き
して楽しいひと時を過ごしました。一人ひとりの近況や
高校時代の思い出を順番で話していくところ三條元教諭
との掛け合いもあり、爆笑も幾たびか起こりました。

会場の嵯峨野は女将とご主人も大学同期で、会場一体
で盛り上がったのであります。26会はこのところ年2回

ペースで行っていて、前回から「嵯峨野」を利用させていただいております。

次回は8月22日（土）午後5時予定にて実施する予定です。それまでにコロナ禍が収まっていることを念
じております。同期の皆様お時間がありましたら是非お顔をお出してください。今回の幹事は元3Bの山田純男
(yamada@wise-cir.co.jp)でした。メール頂けましたら次回幹事元3Cの諸君にお繋ぎ申し上げます。

26期 山田 純男

バスケットボール部OB会

志木高バスケ部と私

私は普段、経営実務家として多くの企業経営に携わっていますが、普段何気なく実践している事は、志木
高バスケ部での経験から得られたものが非常に多いです。私は中学時代もバスケットボール部の強豪校にて
汗を流していましたが、体罰・イジメ・根性論は当たり前で今なら一発アウトの日々を過ごしておりました。
そのため、志木高での部活動で、その違いに衝撃を覚えました。

1. 懐の深さ

もちろん体育会ですから、縦の序列があるのは普通でしたが、その中にも諸先輩方が後輩を一人の人間と
して尊重する、そんな姿勢に感動しました。中学で最年長になった時に、後輩をアゴで使っていた自分に恥
ずかしさを感じました。独立自尊の慶應らしさかもしれませんが、とにかく人として接し認めてあげるとい
う気風は素晴らしいと思います。経営においても、これまでのような同質性に依拠した企業文化を、多様性・
異文化の許容性へと大きくシフトすることが求められています。まさに志木高バスケの考え方そのものだと
思います。

2. 戦略の重要性

中学では、「走れー、気合入れろー、根性見せろー！」が中心でしたが、志木高ではそうした精神論より、
むしろ合理的な戦略を重んじていることに驚きました。大会前に競合の戦力分析に基づきフォーメーション
をしっかりと組む、そんなミーティングに「すげー、大人！」と驚きました。当時のコーチは現矢沢監督（32

期、昭和57年卒) だったのですが、これまたクールに決める仕草は、今も昔も変わっていません。日本の経営においては、よく経済合理性より情緒的な判断から意思決定を間違えるケースがあります。情理より合理、こちら私にとっての学びの一つです。

3. 目標設定

経営においても、組織・個人にどういった目標を与えて動機付けするか、いわゆるインセンティブ設定が重要なことは論を俟ちません。高校時代も様々な試合のデータを分析し、細かい指導をしてくださったのが印象に残っています。これは自戒を込めてですが、高校卒業し、NBAをテレビで観るようになって「アシスト」というデータを取っていることに愕然としました。高校時代の私はセンターとして自分が点を取らなければ、という自負が強かったですが、一つ上の先輩に増田さんという強力なポイントゲッターがいました。もし私がもう少し増田さんにアシストする気持ちを持っていたら、と今更ながら後悔しています。この時の経験が、戦略実現に向けてKPI（重要経営指標）を重んじる今の私につながっていると思います。

当時の私は、「今日のこのキツイ練習をどうやって乗り切るか」しか考えていませんでしたが振り返ると多くの果実を得られた貴重な機会でした。今の現役諸君も長期志向を持って、日々の生活に取り組んでいただければと思います。

注：木村さんは現在、株式会社 経営競争基盤の共同経営者 マネージングディレクターとしてご活躍中です。著書も多数あり、主著に、『ダークサイドスキル』（日本経済新聞出版）、『「競争力×稼ぐ力」を強くする生産性革命—日本企業が「グローバル」「ローカル」で勝つために大切なこと—』（富山和彦氏ほかと共著、生産性出版）、『SD20[エスディ・トゥエンティ] 20歳からのセルフデザイン』（高濱正信氏と共著、エッセンシャル出版社）などがあります。

37期 木村 尚敬（昭和62年（1987年）卒、野火止会（バスケットボール部OB会）副会長）

鉄道研究会OB会

平成23年3月に元部長の小林和良元教諭が他界され、その後部員が1名いるのか否かすら定かではなくなっていた（橋本陽介元教諭のあるご著書の中ではなくなったことにされていた？）平成28年2月のある日。

当時の現役キャプテンより、現部長 石島慎一郎教諭ご指導の下、鉄道模型コンテストへの出展を目指して奮闘していること、OB会の結成が望まれることが記された手紙を戴いた。

現役に最も近かったOBの一人として窓口役を引き受け早4年。

当方が把握出来ていない先輩方もおられる（十数年前の会報にその活動内容が掲載された＜新潟県中越地震後の山古志村を訪ねるという内容であったと記憶＞、篠田元教諭が部長でおられたころの世代には辿り着けていない）ものの、上は19期から下は現役までとコンタクトを取ることができ、昨年にはある大先輩のご自宅にて、40年以上の世代を超えて16番（HO）ゲージレイアウトを囲み、模型運転に興じて交流を深めることができた。

新型コロナウイルス対策が叫ばれる昨今ではあるが、毎年、上記コンテストにて受賞を続ける現役のサポートを続けるのみならず、OB自体が鉄道を肴に楽しめる会であり続けたいものである。

52期 滝上 紘之

第 37 期 —昭和62年卒—



令和2年9月4日に開催された志木会親睦ゴルフ会にてプチ同期会として37期6名で参加しました。(左から鍋島康友君、阿曾友淳君、田内久晴、芥川達哉君、北井大介君、木村尚敬君)

名門コースの藤ヶ谷カントリークラブにて、とても良い天気のおかげで近況報告や懐かしい思い出話で盛り上がりながらとても楽しいラウンドが出来ました。

コロナウイルスの影響でゴルフ後の表彰パーティーはありませんでしたのでみんなと反省会は出来ませんでした。次回は一期先輩の天野徳雄さんのお店『銀座長寿庵』でまた集まろうと約束しました。

37期 田内久晴



志木会親睦ゴルフ会を開催しました



去る9月4日(金)、名門、藤ヶ谷カントリークラブ(千葉県柏市)にて、志木会親睦ゴルフ会を開催し、総勢60名がそれぞれの腕を競いました。

例年は「志木マスターズ」として開催していたこのコンペですが、今年は新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、延期や中止の案も出ておりました。

しかし、「コロナに負けてばかりもいられない!」と開催を楽しみにお待ちだった方も多し中、坂上会長・大館副会長をはじめ幹事メンバーにて検討を重ねた結果、最終的には、感染予防を徹底した上で、パーティー・表彰式なしでプレーのみを行う「親睦ゴルフ会」として開催する判断をいたしました。

当日は朝から快晴で、最高気温は34度!特に後半は日差しも強く酷暑のラウンドとなりましたが、皆、日頃の鍛錬の賜物か誰一人体調を崩すことなく、同期・先輩・後輩と互いに懐かしい話で盛り上がりつつ、終始プレーを楽しむことが出来ました。

そしてスコアの方では、今回の優勝は、幹事メンバーの一人、田内久晴さん(37期)となりました(42-42-84、HC13.2、NET70.8)。この表彰式も景品も一切ない中での勝利…あまりの謙虚さと幹事魂に、涙で前が見えません!

また、ベストグロス77ストローク(39-38)の堀口孝利さん(25期)でした。改めまして、お二人とも、おめでとうございます。

今回はパーティーが出来ず、皆で若き血を歌えなかった事はとても残念ですが、次回、来年11月予定の第8回志木マスターズを楽しみにしたいと思います。詳しくはまた会報やメルマガ等でご案内いたしますので、皆様ぜひご参加下さい。

最後に、今回この素晴らしいコースをご紹介下さり、準備におかれましても各方面にご尽力いただきました27期安岡博之さんに、心より感謝申し上げます。

幹事 甲斐正英(40期)



志木会ポロシャツのお知らせ

2023年の志木高75周年を見据え、志木会ポロシャツを作りました。数量に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

価格: ¥7,000 -(税込)

サイズ: S、M、L、XL *ユニクロと同等のサイズです。

〈購入方法〉

志木会事務局へお申し込みください。

品代+送料(実費)が掛かります。

連絡先: 慶應志木会事務局 担当: 芹澤

MAIL: info@keio-shikikai.jp TEL: 048-471-1959(直通)



ホームカミングデー報告

19期 齋藤治雄

昨年10月26日収穫祭初日の志木会主催ホームカミングデーに、卒業50周年の19期、25周年の44期が参加しました。19期は約30名が参加し、短い時間でしたが大いに旧交を温めることができました。当時の、篠田（漢文）後藤（体育）大谷（体育）龍田（数学）各元教諭方もご参加されて、50年前の高校生活を思い出し、懐かしく楽しかった昔話で大いに盛り上がりました。

現校舎は我々が在籍中に建設され、3年時に初めて使用されました。旧校舎と違い、当時としてはとてもモダンな校舎で大いに満足でした。建物は近代的ですが、周りの環境が素晴らしく、まだ手付かずの多くの雑木林、竹藪、柿の木、梅の木（図書室前）がありました。まだ雑木林の中を野火止用水がちょろちょろと流れ、春は桜が満開、タケノコ採り、夏前には青梅を収穫、秋は柿が実り……と友人と競って収穫し、内緒で大き目の通学カバンに入れ、自宅に持ち帰ったものでした。

農業学校時代の名残か、1年時は一番奥の一戸建カマボコ教室が我がF組でした。床は地面？昔ここは馬

小屋だったと担任の建部元教諭（生物）の話。事務所から廊下が繋がっておらず、授業開始時に「キュー」とブレーキ音。自転車通勤の吉田元教諭（英語）が颯爽と登場。「F組は遠いですネ」。授業では、トランプを切るようにカードで指名、鋭い質問の連射で……もじもじ適当に答えると、真っ赤なウソです。このアメンバーが……と、それはそれは厳しい授業でした。お蔭で、大学で英語の特修（再履修試験）取らずに済みました。志木高は卒業以来……というメンバーもいて、大いに昔話に時間を忘れて楽しい一時を過ごしました。



昭和43年まで使用された旧校舎（昭和26年撮影）

<ホームカミングデー 中止のご案内>

志木高収穫祭の1日目（10/24（土））に卒業50周年及び25周年の皆様をご招待するホームカミングデーですが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により「中止」となりました。

収穫祭の開催自体、入場制限をする又はオンライン開催にするなどまだ検討中のようで、学校側よりOBの方の入場は難しいとの連絡がありました。

今年度対象となる予定であった20期及び45期の皆様には、懐かしい同期や先生方との志木高での再会を楽しみにされていたかと思いますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い致します。

令和元年度 卒業40周年ご招待 中止のご報告

令和元年度の卒業式（令和2年3月24日）は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、教員と生徒のみでHR教室で執り行われ、卒業40周年の皆様のご招待は中止となりました。

対象期であった30期の皆様には、懐かしい校舎で友人との再会を楽しみにされていたかと思いますが、ご理解賜りますようお願い致します。

収穫祭お知らせ

本原稿受領後に、今年度の収穫祭はオンラインにて開催することが決定しました。

詳細につきましては、別途志木会メールマガジン等で御案内する予定です。

平成 31 年度 慶應志木会 収支報告書

[平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日]

単位：円

収 入		支 出	
適 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	21,871,013	会 報 費	2,652,480
		会 議 費	388,664
維 持 会 費	30,000	交 際 費	121,176
新 入 会 費	7,680,000	通 信 費	46,337
物 販 収 入	174,130	事 務 費	55,729
役 員 会 幹 事 会 会 費	159,000	事 業 費	1,653,711
雑 収 入	115,871	パ ソ コ ン 関 連 費	41,000
(5 高同窓会・預金利息等)		寄 付 金	900,000
		(収穫祭・卒業式・国際交流支援)	
		卒 業 式	642,725
		(卒業生記念品・志木会賞)	
		雑 費	25,062
		(五高同窓会・支払手数料等)	
収入小計	8,159,001	支出小計	6,526,884
		次 期 繰 越 金	23,503,130
合 計	30,030,014	合 計	30,030,014

預金残高明細（令和 2 年 3 月末現在）

銀 行	種 別	適 用	管 理	残高金額
ゆうちょ	普通	新入会費口	上西	11,468,352
三井住友	普通	小 口	天野	1,322,301
ゆうちょ	振替	維持会費口	芹澤	9,852,518
埼玉りそな	普通	小 口	芹澤	859,959
合 計				23,503,130

【監査報告】

慶應志木会会則第 18 条に基づき、平成 31 年度（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）の会計監査を実施致しました。その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和 2 年 5 月 1 日

監 事 原 田 薫 (押印略)
監 事 増 山 治 一 郎

慶應志木会役員・幹事等 (令和2年7月末現在)

■役員

名誉会長 高橋 美樹 (校長)
会長 坂上 隆彦 (23期)
副会長 上西 正之 (23期) 財務・渉外担当
 大館 信 (28期) 総務・企画・広報・情報管理担当
幹事長 中村 弘司 (23期)
副幹事長 夏目 雅 (23期)
会計監事 原田 薫 (15期)
 増山 治一郎 (17期)

■事務局幹事

宇野 宏 (35期) 事務局長
 金子 博志 (20期) 情報管理担当
 永井 利宗 (27期) 企画・広報担当
 青木 勝 (33期) 総務担当
 天野 徳雄 (36期) 財務担当
 田内 久晴 (37期) 企画・広報担当
 甲斐 正英 (40期) 財務担当
 大久保佐太郎 (55期) 広報担当

■顧問

櫻井 英太郎 (1期) 龍野 和久 (1期) 多田 毅 (7期)
 五老 輝彦 (9期) 品川 雅貴 (12期) 本橋 重夫 (15期)
 鹿野 元章 (16期) 阪東 宗文 (16期) 西村 孝一 (17期)
 松下 賢次 (21期) 山崎 嘉正 (26期)

■幹事

期	卒業年	幹事							
1	S.26 (1951) 年卒	藤井 淳	松本 仙太郎						
2	S.27 (1952) 年卒	忽滑谷 岱司							
3	S.28 (1953) 年卒	菅野 光男							
4	S.29 (1954) 年卒	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫				
5	S.30 (1955) 年卒	寺嶋 延行	関山 清	木下 聰					
6	S.31 (1956) 年卒	真野 信裕	松本 福太郎	茂木 光義	梅澤 勉				
7	S.32 (1957) 年卒	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正					
8	S.33 (1958) 年卒	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏				
9	S.34 (1959) 年卒	五老 輝彦	佐々木 弘暢	荒井 浩					
10	S.35 (1960) 年卒	馬場 紘二	斉藤 彰	細井 昭	吉川 忠裕				
11	S.36 (1961) 年卒	馬淵 祥宏	森原 孝夫	菅谷 正樹	西 光由	渋谷 哲男			
12	S.37 (1962) 年卒	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和				
13	S.38 (1963) 年卒	清水 武寿	椎野 開八郎	山本 雄一	飯島 智				
14	S.39 (1964) 年卒	小林 好二	築山 正	三関 峻	佐久間 義雄	藤田 正壽			
15	S.40 (1965) 年卒	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司					
16	S.41 (1966) 年卒	緒方 信次	恩田 博司	近藤 隆夫					
17	S.42 (1967) 年卒	荘 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真	中村 康二	川鍋 二郎		
18	S.43 (1968) 年卒	伊藤 博	黒田 豊	徳永 良	間宮 勝	三村 信二	青沼 広海		
		大場 紹吉							
19	S.44 (1969) 年卒	中西 廣策	鈴木 基晴	齋藤 治雄					
20	S.45 (1970) 年卒	中 一弥	杉 雅俊						
21	S.46 (1971) 年卒	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎	内山 洋一		
22	S.47 (1972) 年卒	金子 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄	増田 裕		
		城 克	深井 昭						
23	S.48 (1973) 年卒	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一	太田 敏一			
24	S.49 (1974) 年卒	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修				
25	S.50 (1975) 年卒	小川 洋	高橋 宣行	島田 徹					
26	S.51 (1976) 年卒	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士		
		渡辺 規人	荻原 弘幸						
27	S.52 (1977) 年卒	鬼頭 真一郎	金森 悟	高橋 健三郎					
28	S.53 (1978) 年卒	伊能 重雄	池田 欽哉	南村 譲治					
29	S.54 (1979) 年卒	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣					
30	S.55 (1980) 年卒	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文				
31	S.56 (1981) 年卒	荻田 健之	福島 聡	布施 浩行	梶原 靖友	内匠屋 健			
32	S.57 (1982) 年卒	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学			

33	S.58 (1983)	年卒	小玉 裕	河野 潔	本多 関雄				
34	S.59 (1984)	年卒	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎				
35	S.60 (1985)	年卒	須佐美 文忠	昌谷 健司	岩瀬 克也	永原 圭司	坂井 琢磨	萩原 太造	
			大澤 宏樹						
36	S.61 (1986)	年卒	阿部 元雅	澤田 克己					
37	S.62 (1987)	年卒	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	原田 純一			
38	S.63 (1988)	年卒	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則	荒瀬 光宏			
39	H. 1 (1989)	年卒	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫	鈴川 智徳			
40	H. 2 (1990)	年卒	井上 晴生	税所 篤史					
41	H. 3 (1991)	年卒	柏木 徹	三田 貴良	須田 光貴				
42	H. 4 (1992)	年卒	安 重煥	小島 圭	御山 義明	大澤 康算			
43	H. 5 (1993)	年卒	藪原 一暁	高松 智之	田口 鍊				
44	H. 6 (1994)	年卒	宮田 真詩						
45	H. 7 (1995)	年卒	若松 洋雄	小山 一	小川 圭				
46	H. 8 (1996)	年卒	谷口 剛	川崎 聡					
47	H. 9 (1997)	年卒	小寺 俊且	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭	
			前北 馨						
48	H.10 (1998)	年卒	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広				
49	H.11 (1999)	年卒	石川 快	廣江 安彦					
50	H.12 (2000)	年卒	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収			
51	H.13 (2001)	年卒	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明			
52	H.14 (2002)	年卒	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎					
53	H.15 (2003)	年卒	森岡 多門	林 憲					
54	H.16 (2004)	年卒	塚本 大夢	中川 雅之					
55	H.17 (2005)	年卒	池端 俊太	小泉 貴史					
56	H.18 (2006)	年卒	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太	原口 惇			
57	H.19 (2007)	年卒	和田 亮	時田 亜希夫					
58	H.20 (2008)	年卒	宮山 明	佐藤 友紀					
59	H.21 (2009)	年卒	箱崎 勇人	本多 清礼					
60	H.22 (2010)	年卒	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太	松井 洋	古川 創一	伊勢谷 勇人	
61	H.23 (2011)	年卒	井上 裕紀	富澤 直嗣	今野 秀一				
62	H.24 (2012)	年卒	荒木 謙人	岡本 尚之	加藤 将平	椎名 翔平	武藏 泰		
63	H.25 (2013)	年卒	星野 真瑠也	星野 宏太					
64	H.26 (2014)	年卒	市川 広大	巽 祐一	池上 太悟	亀倉 玲	森 大和	内村 朝樹	
65	H.27 (2015)	年卒	秋田 雅信	友野 雅樹					
66	H.28 (2016)	年卒	小林 翔	恩田 真希					
67	H.29 (2017)	年卒	菱刈 太一	本間 健太郎	大森 脩平	堀内 悠生	今野 裕三		
68	H.30 (2018)	年卒	松田 高幸	齋藤 正人					
69	H.31 (2019)	年卒	中山 元貴	堀永 尚					
70	R. 2 (2020)	年卒	長合 哲弥	關山 輝流					

■クラブ幹事

枇杷の会	深瀬 啓司 (15期)	ホッケー部	菅野 芳哉 (29期)	スキー部	渡邊 一仁 (51期)
硬式庭球部	田中 真介 (17期)	弓術部	小宮 雄造 (30期)	鉄道研究会	滝上 紘之 (52期)
硬式野球部	小川 光二 (17期)	軟式テニス部	枇々木 規雄 (34期)	ワグネル	南 琳太 (61期)
應援指導部	渡辺 伸一 (17期)	バスケット部	木村 尚敬 (37期)	ワグネル	山浦 元気 (61期)
卓球部	浅生 潤 (23期)	バスケット部	平賀 敦巳 (41期)		
バレー部	進藤 英典 (23期)	サッカー部	中村 直人 (38期)		

編輯後記

今年度はCOVID-19の影響により、近年稀に見る同期会報告の少ない年となりました。これは会報だけで無く、毎月発行しているメールマガジンへの投稿数が激減していることでも実感しています。個人的意見ですが、志木会の活動の根幹は、同期会だと考えています。少しでもはやく、皆様が集まりをもてるような日が訪れるよう祈ると共に、事務局幹事としてもサポートしていきたいと考えています。(さたらう)

慶應志木会会報 2020.vol.40

編輯・発行 慶應志木会
(慶應義塾志木高等学校同窓会)
〒353-0004
埼玉県志木市本町4-14-1
TEL: 048-471-1959 (志木高内)
発行人 坂上 隆彦
発行日 令和2年10月1日
印刷 (株)アレックス
ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>
電子メール info@keio-shikikai.jp